

平成 22 年度 新学術領域研究（研究領域提案型） 審査結果の所見

研究領域名	ゲノム複製・修復・転写のカップリングと普遍的なクロマチン構造変換機構
領域代表者	花岡 文雄（学習院大学・理学部・教授）
研究期間	平成 22 年度～平成 26 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、多くが未解明である DNA 修復とクロマチン構造との関連を明らかにすることを目的とする提案である。DNA 修復は、生命の根幹に関わる普遍的機能であるとともに、癌や遺伝病との関連も深く、重要な研究課題である。これまでの DNA 修復研究は、主に裸の DNA を対象として進められてきたが、本研究領域ではクロマチン構造の観点から、複製、修復、転写を捉え直し、相互の共役や共通の制御基盤を探る新たなコンセプトを提案している。DNA 損傷修復可視化、プロテオミクスなどの技術的基盤がしっかりと整っており、また、研究組織は長年世界の DNA 修復研究を牽引してきた研究者と気鋭の若手研究者から構成されており、大きな研究成果と研究領域としての発展が期待できる。</p>